

県内の主な外国人住民数調査票（広域別、主な国籍・地域別）

令和5年（2023年）12月末現在
長野県多文化共生・パスポート室調べ
(単位：人)

国籍・地域 広域	中国	ベトナム	フィリピン	ブラジル	韓国※1	タイ	インドネシア	その他	合計	対前年増減
佐久 (構成比※2)	726 (8.8%)	572 (8.9%)	447 (8.6%)	340 (7.2%)	257 (8.5%)	713 (27.8%)	385 (15.3%)	1,139 (12.9%)	4,579 (11.0%)	507
前年同期	708	509	420	294	252	699	233	957	4,072	
上田 (構成比)	996 (12.1%)	545 (8.5%)	303 (5.8%)	769 (16.2%)	324 (10.7%)	304 (11.9%)	438 (17.5%)	1,222 (13.8%)	4,901 (11.8%)	216
前年同期	987	535	270	785	323	325	329	1,131	4,685	
諏訪 (構成比)	608 (7.4%)	832 (12.9%)	803 (15.5%)	518 (10.9%)	258 (8.5%)	214 (8.4%)	460 (18.3%)	679 (7.7%)	4,372 (10.5%)	309
前年同期	606	778	747	544	249	191	333	615	4,063	
上伊那 (構成比)	702 (8.5%)	728 (11.3%)	931 (18.0%)	1,406 (29.7%)	188 (6.2%)	140 (5.5%)	352 (14.0%)	554 (6.3%)	5,001 (12.0%)	135
前年同期	693	770	910	1,530	192	78	210	483	4,866	
南信州 (構成比)	1,219 (14.8%)	567 (8.8%)	548 (10.6%)	335 (7.1%)	90 (3.0%)	58 (2.3%)	128 (5.1%)	357 (4.0%)	3,302 (7.9%)	231
前年同期	1,212	499	528	319	92	54	65	302	3,071	
木曾 (構成比)	75 (0.9%)	37 (0.6%)	134 (2.6%)	22 (0.5%)	26 (0.9%)	9 (0.4%)	18 (0.7%)	45 (0.5%)	366 (0.9%)	29
前年同期	74	27	125	18	25	9	15	44	337	
松本 (構成比)	1,532 (18.6%)	976 (15.2%)	1,124 (21.7%)	802 (16.9%)	1,062 (34.9%)	296 (11.6%)	324 (12.9%)	1,436 (16.3%)	7,552 (18.2%)	469
前年同期	1,487	866	1,078	822	1,075	288	228	1,239	7,083	
北アルプス (構成比)	224 (2.7%)	255 (4.0%)	152 (2.9%)	99 (2.1%)	112 (3.7%)	72 (2.8%)	52 (2.1%)	1,364 (15.4%)	2,330 (5.6%)	597
前年同期	175	234	146	110	109	68	34	857	1,733	
長野 (構成比)	1,870 (22.7%)	1,472 (22.9%)	567 (10.9%)	356 (7.5%)	677 (22.3%)	628 (24.5%)	269 (10.7%)	1,311 (14.8%)	7,150 (17.2%)	587
前年同期	1,819	1,358	523	378	690	588	164	1,043	6,563	
北信 (構成比)	304 (3.7%)	442 (6.9%)	172 (3.3%)	86 (1.8%)	46 (1.5%)	127 (5.0%)	84 (3.3%)	722 (8.2%)	1,983 (4.8%)	355
前年同期	293	354	167	88	44	127	58	497	1,628	
合計 (構成比)	8,256 (100.0%)	6,426 (100.0%)	5,181 (100.0%)	4,733 (100.0%)	3,040 (100.0%)	2,561 (100.0%)	2,510 (100.0%)	8,829 (100.0%)	41,536 (100.0%)	3,435
前年同期	8,054	5,930	4,914	4,888	3,051	2,427	1,669	7,168	38,101	
対前年増減	202	496	267	▲ 155	▲ 11	134	841	1,661		

※1 令和2年度調査（R2.12月末現在）から、従来の「韓国・朝鮮」に係る表記を、在留外国人統計（出入国在留管理庁）の区分に合わせ、「韓国」、「朝鮮」と区別して、表記することとしています。

※2 構成比は、各国籍・地域の外国人住民が、各圏域に在住する割合を示しています。